



牛頸区ホームページ : <http://www.kouminkan.info/onojo/ushikubi/>

【八月の行事報告】

●子育てサロン「あいあいくらぶ」
1日、地域で子育て中の保護者とお子さんが集まり交流と支援の「あいあいくらぶ」が開催されました。福祉推進委員との交流は親子の雰囲気毎月楽しく過ごされています。



●納涼盆踊り大会

16日に大野城市の夏祭り最後を飾る牛頸区納涼盆踊り大会が午後6時から平野神社で開催されました。残暑が厳しいなか沢山のご来場有難うございました。来賓の方、牛頸の踊り隊、他区の踊り隊に参加の方も混じり賑やかな盆踊りとなりました。途中に創人エイサー守破離太鼓の皆さんの演奏を交え最後に
お楽しみ抽選会をしました。盆踊り賞9本、ふれあい賞30本、特別賞5本の総数44本の景品当選でした。子供達にはゼンザイや最後に缶ジュースが参加賞として1本ずつ配られました。
盛会に終り、ご来賓の方々、踊り応援の方々、裏方を手伝って頂いた方々に心より感謝申し上げます。

●足元気教室



いつまでも元気で過ごしたいものです。そのための健康づくり教室を開催しています。今月は28日に開催。毎月公民館で指導員を招き、福祉推進委員の方と元気で過ごすための楽しい運動などを皆で練習しています。年齢に合わせた運動で快適な生活が送れると良いですね。

●「国指定史跡 牛頸須恵器窯跡」説明会

25日集会室で市教育委員会ふるさと文化財課から説明会が開催されました。説明会には59名の方にご参加頂き熱心に聞いていただきました。



上大利・牛頸を中心とし、春日市・大宰府市にも分布。6世紀中ごろ〜9世紀中ごろの300年間操業。総基数500基を超える九州最大の須恵器窯跡群。平成21年2月に牛頸須恵器窯跡として国指定史跡となりました。
現在まで発掘調査が行われて

きました。が、窯跡が保存され見学が出来るのは上大利にある梅頭窯跡覆屋だけで、事前に予約が必ず要です。平成24・25年度に「牛頸須恵器窯跡整備活用計画」が策定される予定です。

●牛頸1組シニアクラブ・牛頸悠々会 交流会



31日「牛頸1組シニアクラブ」「牛頸悠々会」とのふれあい交流会が牛頸区若草区地域福祉推進委員会の主催で開催されました。分区して初めての交流で久しぶりに顔を合わせた方も多かったようです。市の介護サービス課から講師を招き「介護保険制度について」講義を受けました。

【区からのお知らせとお願い】

●敬老の日記念式典について
77歳以上の方に式典の案内が隣組長より届きます。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。是非ご参加区下さい。締め切りは10日です。

【九月の主な行事予定】

- 一日 公民館運営委員会
- 五日 大行事祭
- 五日 子育てサロン「あいあいくらぶ」
- 一七日 敬老の日記念式典
- 二二・二三日 おおの山城大文字まつり
- 二六日 足元気教室

スエちゃんのお牛頸ばなし

第六十八回 今はなきあの行事・(一)

以前は色んな習慣や行事があったのですが、時代と共にいつの間にか無くなったものが沢山あります。その殆どが文明の進化の陰に追いやられ、潰され、面倒がられたものですが、長い年月をかけて「良かれかし」との思いで作られ、伝えられたものばかりだと思えます。中には今もあつたらいいのとか、復活して欲しいものもあります。今までの話の中で登場したものは省いてその幾つかをご紹介します。

●一月一日 若水汲み 元旦の朝家長がしました。上牛頸の原では手桶とひしゃくを持って原浦川の水を汲んできて釜で沸かし、その湯で家の者が顔をあらひ、干柿をお茶うけにしてお茶を飲みました。横峰では荒神様とお仏壇に供え、正月花の差し水にしました。お茶うけは矢張り鏡餅の上にある干柿でした。

●一月一日 マス餅 米などを量るマスの形をしてマスのサイズ(どのくらいのマスでしょうか)の餅の上だけを焼いて重ねて黒豆を付け食べたそうです。今年もマスマス元気にとかママママしく働くといい願いを込めて食べました。でも焼かない下の部分はどうしたのでしょうか？

●一月二日 ナイズメ 緋初め 農事の仕事始めのこと、牛馬に引張らせて田を耕すマガ(土をならす農具)やモツタテ(土を掘り起こす農具)の縄をワラで緋いました。牛や馬のためのゾウリを作ることもありました。牛頸では足が早く牛の1.5倍位の効率の馬は若い人が飼っていました。餌代が高くなり、馬代も値が張りました。牛は仕事が少ないので年取った人が使っていました。餌もワラや刈って来た草を食べさせていたので餌代が要りません。明治一三年の記録によると牛頸村の牛は六一頭、馬は二九頭となっています。ナイズメをした後は朝風呂に入ったそうです。

竹田 準

